



たかくまだより

R6.6.20 第3号
高塚熊野神社



高塚南北子ども会共催

神様教えて

今回は、植田紗帆さん
(小学4年生)からの
質問です。



Q 鳥居はなぜ赤い？

赤は魔除(まよ)け、厄除(やくよ)けの色とされ、古くから、鳥居だけでなく、神社・寺院や宮殿などが赤色(朱色)に塗られてきました。また、丹(に)(赤色の原料)に、防腐(ぼうふ)効果があるために塗られたとも考えられています。しかし、鳥居が全て赤色というわけではなく、黒色の鳥居や、石、木などの素材の色のままの鳥居も多く見られます。

*京都伏見稲荷大社をはじめ、赤色鳥居がたくさん並んでいることで知られる稲荷(いなり)神社(豊作の神)では、赤色は稲作に必要な日の光や温かさをもたらすものと考えられています。



稲荷神社(高塚熊野神社境内)



石造の鳥居(高塚熊野神社)



朱色の鳥居(高塚熊野神社)



白木の鳥居(伊勢内宮)

ニュース

5月23日、24日 感動の「熊野三山参詣」 6年ぶりに実施

3年前にコロナで延期となり、6年ぶりとなった「熊野三山参詣」に、高塚町内外から40名余りが参加しました。高塚熊野神社は、950年前に熊野本宮大社の神主が勧請したものとされていますが、熊野信仰は、熊野新宮大社、熊野那智大社との三社一体となったもので、それぞれの神社の主祭神を互いに祀り合うなど強く結びついているのです。

今回は、那智大社→本宮大社→新宮大社の順に参拝を行い、特に、本宮大社では通常立ち入ることができない本殿(証誠殿)御垣内での正式参拝を行うことができました。



正式参拝記念写真(熊野本宮大社社殿前)

トピックス

たかくま稲荷市(4/28)
のムービー完成



毎月末土曜日開催のたかくま市。50回目の開催となった4月のたかくま稲荷市に出店の皆さん。右端下が主催の安井さん。

稲荷大祭の様子もたくさん出てきます。ぜひごらんください。

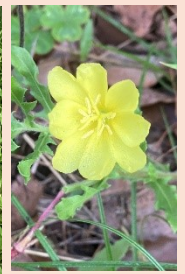
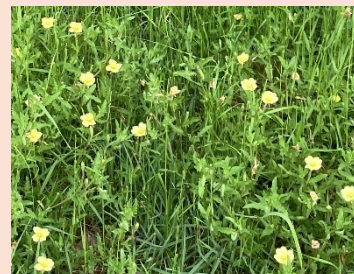


たかくま市提供

四季の花

可憐に野草咲く

お宮の裏山(参集所北側)に、コマツヨイグサがひっそりと群生していました。



お知らせ

月例文化講座
7/29(土) 15時~(神社拝殿)

第3回は「日本の神話、日本の神々」です。講師は、戸塚昌宏宮司です。入場は無料です。

*本年度から、神社や神道に関わる講座を毎月1回、12回連続で開催します。8回以上参加の皆様には記念品を差し上げます。

例大祭 10/5・6 舞姫大募集!

巫女さんの装束をつけて、神様に舞を奉納してみませんか。お子様のよき思い出に!

- 1.条件=高塚町在住、若しくは町内出身の方のお子様(女の子)で、小中学生(高校生も可)。
 - 2.定員=6~8名
 - 3.練習=9月上旬より、回数未定
- 社務所までお申込みください。(053) 448-2288